資料８

小児がん拠点病院連絡協議会　緩和ケア部会について

設置の意義

・小児がん拠点病院における緩和ケア体制をより充実させるために、関係者への知識提供や情報共有、関係者同士のネットワーク構築は有用である。

設置の目的

・小児がん拠点病院における緩和ケア実施の支援や促進、その質の向上に資すること

具体的な活動内容

・各施設の実践についての情報共有、好事例紹介
・小児がん拠点病院緩和ケアチームの実態調査
・小児がん診療における緩和ケアの課題と障壁の抽出

事前アンケートから：部会に期待すること

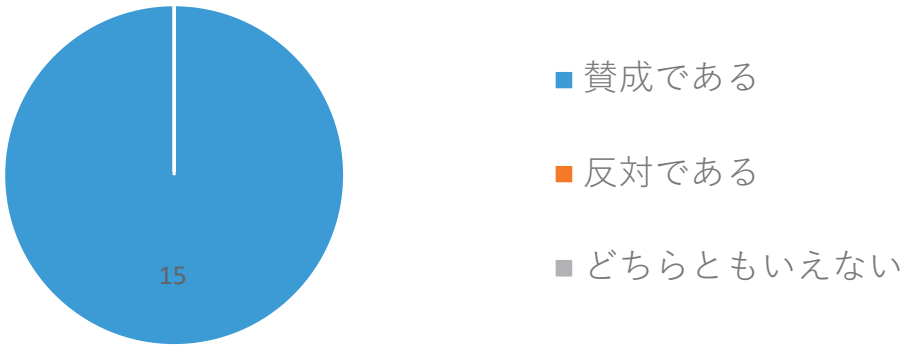
・緩和ケアの質の向上、地域格差の是正
・情報共有と教育機会の提供、人材育成
・均霑化と緩和ケア専門医配置の検討
・小児病院での加算取得の検討
・在宅支援の充実

今後の予定

第１６回小児がん拠点病院連絡協議会で提案
承認されれば第１７回の協議会までに第１回緩和ケア部会を開催

現在、小児がん拠点病院中央機関では、小児がん診療における緩和医療のさらなる充実を図るために、「緩和ケア部会」の設置を検討している

1）「緩和ケア部会」の設置について



2）「緩和ケア部会」が設置された場合、期待すること

- 当院の緩和ケア更なる充実
- 各施設の緩和ケアレベルの向上
- 緩和ケアにおける全体的なレベル向上
- HPなどを通じた、医療者や患者さんへの情報の提供
- 情報共有と教育機会の提供
- 小児がん緩和ケアの均てん化および緩和ケア専門医の配置の検討に繋がる
- 人材育成、研修
- 緩和ケアの質的向上と、早期介入システムの確立
- 小児がん終末期に対応できる在宅医の増加
- 小児病院でも実践でき、加算を取ることができる緩和ケアチームについての提言をしてほしい
- 緩和ケアの充実
- 緩和ケア領域の地域格差の是正を期待します